

漁港漁場協会女性役員セミナーを開催

(社)全国漁港漁場協会



セミナーに参加した女性役員ら

漁港漁場漁村の整備と利用、漁村活性化に関する漁村女性からの提案について意見交換

(社)全国漁港漁場協会は、3月2日午後1時30分から東京・千代田区の商工会館において、平成21年度漁港漁場協会女性役員セミナーを開催した。

このセミナーは、平成12年度から毎年継続して行っているもので、漁村づくり、地域資源の活用と女性の取組等についての意見交換や現地視察などを行ってきた。今回のセミナーの冒頭、全国漁港漁場協会の田中潤児会長が「漁業関係者の減少・高齢化、漁業者の減少・高齢化、漁協の合併の進展など、漁業構造の変化が進む中、漁村地域の活性化のあり様が変化している。また、水産庁連年予算の削減が続く、漁業の重点化、効率化が求められている。こうした中で、漁業を進展させ、漁村の活性化を図っていくには、きめ細かな漁港、漁場、漁村の整備、有効活用を行いながら、活性化に向けた各種の施策を積極的に行っていく必要がある」と述べた。



全員参加でキーワードの整理作業

場、漁村の整備、有効活用を行いながら、活性化に向けた各種の施策を積極的に行っていく必要がある」と述べた。今回のセミナーでは、来年度から新たな漁港漁場整備長期計画に向けた作業が行われることもあり、各

環境の整備、安全・安心な水産物供給による漁業収入の向上、これまで整備した水産関係施設の有効活用を図り、漁村活性化を図っていく考えであり、これらの取組に対する女性の皆さんの積極的な発言を期待している」と挨拶した。

次に、水産庁漁港漁場整備部防災課の本田直久課長が、「漁村の活性化について」と題し、水産業、漁村の置かれて

この研修会は、国及び県の漁港漁場整備事業や新たな実施される「農山漁村地域整備交付金制度」についての説明などが行われ、出席者は熱心に聴講していた。内容および講師は次のとおり(敬称略)。

この研修会は、国及び県の漁港漁場整備事業や新たな実施される「農山漁村地域整備交付金制度」についての説明などが行われ、出席者は熱心に聴講していた。内容および講師は次のとおり(敬称略)。

この研修会は、国及び県の漁港漁場整備事業や新たな実施される「農山漁村地域整備交付金制度」についての説明などが行われ、出席者は熱心に聴講していた。内容および講師は次のとおり(敬称略)。

この研修会は、国及び県の漁港漁場整備事業や新たな実施される「農山漁村地域整備交付金制度」についての説明などが行われ、出席者は熱心に聴講していた。内容および講師は次のとおり(敬称略)。

廃ポリタンク大量漂着

日本海沿岸地域に1万2000個

環境省は、2月5日、日本海沿岸地域等への廃ポリタンクの漂着状況を公表し、今冬約1万2000個が漂着したことを公表した。

近年、冬場を中心に、日本海沿岸地域には毎年のように大量の廃ポリタンクが漂着しているが、今冬1月末までに沖縄から北海道にわたる18道府県の海岸に総計約1万2000個の廃ポリタンクが漂着していることが、関係道府県からの情報によ

とも、引き続き、漂着状況の調査、廃ポリタンクや内容物に関する情報収集等を行うとしている。廃ポリタンクの漂着は、平成12年頃から冬場を中心に毎年のように続

他県の地域を訪問し、漁港漁場漁村に関する各種事業の進捗状況と漁村の活性化への今後の対応等を現地関係者と意見交換しているが、本年度は、漁港漁場整備に係る環境変化等を踏まえ、静岡県内の先施設な漁港漁村を訪問し、施設等を視察し、地元関係者と意見交換を行うこととした。

能施設となっている。また、清水漁協では静岡県より委託を受けて清水港海づり公園(又カブロー)の管理業務を行っている。海づり公園は、外周が釣りエリア、内側が親水広場・休憩スペースと、多目的広場となっており、親水機能、交流機能を提供し地域の活性化に役立っている。

現地研修会と担当者実務研修会を開催

静岡県漁港漁場協会

県内先進地を訪問(現地研修会)

現地研修会は、例年は静岡県と共通課題を有する他県の地域を訪問し、漁港漁場漁村に関する各種事業の進捗状況と漁村の活性化への今後の対応等を現地関係者と意見交換しているが、本年度は、漁港漁場整備に係る環境変化等を踏まえ、静岡県内の先施設な漁港漁村を訪問し、施設等を視察し、地元関係者と意見交換を行うこととした。

研修会には、会員、関係機関、団体の15名が参加した。清水区は、清水区の水産物供給による漁業収入の向上、これまで整備した水産関係施設の有効活用を図り、漁村活性化を図っていく考えであり、これらの取組に対する女性の皆さんの積極的な発言を期待している」と挨拶した。

清水区は、清水区の水産物供給による漁業収入の向上、これまで整備した水産関係施設の有効活用を図り、漁村活性化を図っていく考えであり、これらの取組に対する女性の皆さんの積極的な発言を期待している」と挨拶した。

清水区は、清水区の水産物供給による漁業収入の向上、これまで整備した水産関係施設の有効活用を図り、漁村活性化を図っていく考えであり、これらの取組に対する女性の皆さんの積極的な発言を期待している」と挨拶した。

清水区は、清水区の水産物供給による漁業収入の向上、これまで整備した水産関係施設の有効活用を図り、漁村活性化を図っていく考えであり、これらの取組に対する女性の皆さんの積極的な発言を期待している」と挨拶した。

清水区は、清水区の水産物供給による漁業収入の向上、これまで整備した水産関係施設の有効活用を図り、漁村活性化を図っていく考えであり、これらの取組に対する女性の皆さんの積極的な発言を期待している」と挨拶した。

第23回 市町水産関係幹部研修会を開催

(社)福岡県漁港漁場協会



森課長補佐の講義を聞く参加者

この研修会は、県内市町の漁港漁場関係幹部職員を対象とした研修会であり、今回は41名が参加した。

研修会では、国及び県の漁港漁場整備事業や新たな実施される「農山漁村地域整備交付金制度」についての説明などが行われ、出席者は熱心に聴講していた。内容および講師は次のとおり(敬称略)。

この研修会は、国及び県の漁港漁場整備事業や新たな実施される「農山漁村地域整備交付金制度」についての説明などが行われ、出席者は熱心に聴講していた。内容および講師は次のとおり(敬称略)。

漁港往来

自2月1日
至2月28日

2月3日(水) 田浩人氏、同土木事務所主任技師比嘉正一氏

2月8日(月) 同協会書記田村春氏

2月23日(火) 同協会書記田村春氏

水産庁人事

(3月1日付)

漁港漁場整備課 海外水産水産門官

国土交通省水産局 企画課付 宗 勇一

漁港漁場整備課 海外水産水産門官

国土交通省水産局 企画課付 宗 勇一